

令和 6 年度 事業報告

令和 6 年度次の事業を行った。

事業所	介護保険事業等	定員
本部(事務局)		
ケアハウス ビラおおだ	ケアハウス	50 名
	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	47 名
	居宅介護支援 介護予防居宅介護支援 介護予防ケアマネジメント	
福寿園	養護老人ホーム	50 名
	訪問介護 介護予防訪問介護相当サービス 障がい福祉サービス	
相愛保育園	保育所 一時預かり事業	120 名
ビラあさやま	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	40 名
	認知症対応型通所介護 介護予防認知症対応型通所介護	12 名
ビラたかやま	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	45 名
5 事業所 本部(事務局)除く	18	

基本理念

- ①地域社会に開かれた事業所(法人)づくり
- ②利用者本位の高品質なサービスの提供
- ③永続する経営基盤の確立

重点項目

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 人材育成・確保 | 4. 経営基盤の構築 |
| 2. 将来に向けての事業展開とサービス提供 | 5. 地域貢献計画 |
| 3. 施設・事業所の整備、管理計画 | 6. 計画に対する評価等 |

基本方針

人材育成において自ら考え、行動できる職員育成に取組み、人材確保においては情報発信と情報収集を進め、柔軟な雇用形態による確保、働きやすい職場環境作りを継続する。

将来に向けての事業展開については、事業の特色、魅力あるプログラムを積極的に発信すると共に事故のない安心安全なサービスを提供する。また永続する経営基盤の確立に向けた収入を維持していく。

中・長期計画最終年度として、計画全体の評価、課題等の整理を行い、次期中・長期計画を作成する。

令和6年度重点計画(方針)項目

I 人材育成、確保

1) 人材育成の課題等の分析

① 育成プログラムの充実にむけての効果と検証

ア (新) 育成プログラムの実践

② リーダーシップ機能の充実に向けての効果と検証

ア リーダー人材のレベルアップ(研修の検討)

③ 目標管理・キャリアパスの充実にむけての効果と検証

ア (新) キャリアパスの検討

イ (新) キャリアパスの周知・実施

④ 評価表等の活用による自己評価の協議

ア 自己評価の実施・評価・協議

イ 利用者アンケートの実施・評価・協議

2) 職員研修体系の課題等の分析

① 職員基本研修体系の評価

ア 新たな研修計画に基づく研修の実施

イ (新) 実践研究発表会の充実

ウ 資格取得すべき資格の整理

3) 帰属意識の取組みの課題等の分析

① 帰属意識の充実

ア 帰属意識の充実

② 働きがいのある職場環境づくりの効果と検証

ア 業務改善の取組みの修正

イ 健康管理の充実

ウ 職場環境整備の実施

エ 職場環境の適正化

4) 人材確保に向けての課題等の分析

① 実習生・ボランティアの受入れの継続

ア ボランティア・実習生の受入れ効果と評価

イ 実習生・ボランティアの受入れ継続

ウ ボランティアの受入れと育成

② 広報活動の効果と検証

ア 広報活動効果の検証

イ 情報の発信の継続

③ 職員採用に関する課題整理

ア 非正規職員の雇用の検討、実施

④障がい者雇用の促進

ア 就労の為の環境の充実

⑤就業促進及び定着化

ア 職員の処遇改善に向けての周知・実施

Ⅱ 将来に向けての事業展開とサービス提供

1) 大田市福祉等整備計画に伴う事業展開の再検討

①介護予防・日常生活支援総合事業の評価、再検討

ア 介護予防・日常生活支援総合事業の評価、再検討

2) 高品質なサービス提供の推進

①在宅・保育事業の特色づくり、魅力あるプログラムの見直し

ア 法改正に向けた事業見直しと再評価

②施設事業の推進と評価

ア 施設事業の推進と見直し、評価

③事業のPR強化

ア 事業のPR強化と周知徹底

④地域包括ケアシステムの構築に向けた事業展開

ア 福祉ニーズに対する新たな事業展開の実施

イ 制度改正に伴う事業展開の実施

3) リスクマネジメントの強化

①サービス標準化の定着

ア サービス標準化の見直し、再検討

イ 事故防止対策の啓発・評価

②事故防止対策委員会の見直し、再検討

ア 事故防止対策委員会の再構築

③事業継続計画の推進

ア 事業継続計画の見直し、再検討

Ⅲ 施設・事業所の整備、管理計画

1) 建物の長期維持を目的とした管理

①大規模修繕の再検討

ア 次期大規模修繕計画の作成（修繕規模、優先順位等）

イ 次期建物維持管理計画の作成

②小規模修繕の実施

ア 小規模修繕の見直し

2) 大型備品の整備

① 大型備品導入の再検討

ア 次期大型備品購入計画の作成（優先順位等）

② 適正な備品管理の推進

ア 備品管理計画の見直し

IV 経営基盤の構築

1) 次期計画策定における目標設定

① 目標設定

ア 目標に向けた計画の作成

V 地域貢献計画

1) 次期計画策定における目標設定

① 目標設定

ア 目標に向けた計画の作成

VI 計画に対する評価等

1) 次期に向けての取組み

① 新たな課題の明確化、次期計画への反映

ア 課題等の整理

イ 見直しに係る検討

1. 本部(事務局)

人材育成・確保	人材育成において「考え行動する職員」の育成を進め、キャリアパスに基づいた育成プログラムについて検討、修正を行いながらスキルアップを図る。また次期中・長期計画作成にあたり職種、職制を考慮した職員参加型のプロジェクトチームを発足し、計画の作成及び育成の場としても活用する。 業務の省力化については継続して電子化を進め、効率的な業務を行うと共に厚生事業の充実を図り、より働きやすい職場環境を追求する。 <u>◎中堅職員を対象とした研修では「考え行動する職員」を学び、事業所で実践しながらレベルアップに繋げた。またキャリアパスに基づく職種別の業務指標を作成し取組み、事業所間で統一的に職員育成及びスキルアップが出来るようにした。中期計画では職員参加型プロジェクトチーム（14名）を発足し、意見交換しながら計画を作成することで職員間のコミュニケーション及び育成の場としても活用した。</u> <u>業務の省力化に於いては介護ソフトをクラウド型に変更し、事業所間の事務処理を軽減、省力化を進めると共に、厚生事業として年5回講師を招いてのクッキングを開催し、より働きやすい職場環境づくりを進めた。</u>
---------	---

事業展開、サービス提供	新型コロナウイルス等の感染予防対策を継続すると共に、事故防止対策委員会の在り方を再構築し、事故のない安心安全な事業を展開する。 ◎新型コロナウイルス等感染症について予防対策を継続し、発生時には迅速に対応し影響を最小限に留めた。事故防止対策委員会の再構築として客観的な視点での意見を取り入れるため施設長 1 名のアドバイザーを継続し、委員長の他に新たに副委員長を設けると共に、主担当を中堅職員、副担当をリーダー的職員が担い指導・助言を行いながら進めたが、結果として 15 件の事故が発生した。
事業の特色、魅力あるプログラム	「特色」「強み」を継続して発信すると共に利用者ニーズを分析・把握し収入確保に繋げる。 ◎食において調理部会を開催し真空包装機の活用を進め、効率的な調理、高騰する食材料費への対応について検討しながら進めた。また機能訓練指導員部会では作業療法士だけでなく看護師も参加し意見交換を行いながら機能訓練の底上げを図ると共に、市立病院等関係機関へ継続的に情報発信を行った。併せてホームページ等での情報発信、アンケートを実施して利用者ニーズの分析、把握を行いながら収入確保を行った。
その他	新たな中・長期計画作成にあたり、スムーズに作成できるよう計画的に進め、必要な備品等の整備も中・長期計画及び社会福祉充実計画に沿って行う。 また福寿園地域交流室福寿ホール及び地域交流調理室ひまわりについて、非常食づくり等地域の方にも幅広く利用して頂けるよう連携を図ると共に法人内研修や行事、会議等有効に活用する。 ◎中期計画はスケジュールを明確にし、各部会で計画的に準備をしながら進めた。また地域交流調理室ひまわりでは厚生事業を行うと共に福寿ホールにて法人内研修会、事業所交流会の実施、また川合町敬老会等幅広く利用して頂いた。(福寿園地域交流室福寿ホール 年 20 回、地域交流調理室ひまわり 年 12 回)

令和 7 年 3 月 31 日現在

職員配置状況

事業所名	ケアハウス ビラおおだ	ビラおおだ デイサービス センター	ビラおおだ 居宅介護 支援事業所	福寿園	福寿園 ヘルパース テーション	相愛 保育園	ビラ あさやま	ビラ たかやま	合計
正規・再任	9	10	4	12	2	19	10	10	76
準職員	1	1	0	5	1	7	3	1	19
非常勤職員	11	7	1	6	5	10	12	10	62
合計	21	18	5	23	8	36	25	21	157

事故、ヒヤリハット、気づき件数

事業所名	ケアハウス ビラおおだ	ビラおおだ デイサービス センター	ビラおおだ 居宅介護 支援事業所	福寿園	福寿園 ヘルパース テーション	相愛 保育園	ビラ あさやま	ビラ たかやま	合計
事故	1	2	0	2	2	4	3	1	15
ヒヤリハット	3	30	3	21	20	26	20	5	128
気づき	197	646	31	135	98	132	517	503	2,259
車両事故	0	2	0	0	1	0	4	1	8

事故内容

事業所名	件数	内容
ケアハウスビラおおだ	1	①薬の飲ませ忘れ
ビラおおだデイサービスセンター	2	①右大腿骨骨折 ②腰部圧迫骨折
福寿園	2	①誤薬 ②誤薬
福寿園 ヘルパーステーション	2	①薬の飲ませ忘れ ②薬の飲ませ忘れ
相愛保育園	4	①両手掌擦過創、鼻部打撲傷 ②右上外傷性亜脱臼 ③外傷性歯根膜炎 ④左足捻挫
ビラあさやま	3	①頭頂部切創 ②両膝擦過傷、右頬打撲 ③誤嚥
ビラたかやま	1	①点眼間違え

車両事故内容

事業所名	件数	内容
ビラおおだ デイサービスセンター	2	① 物部神社駐車場にてバックした際、ポールに接触 ② 利用者宅にて左後輪脱輪
福寿園 ヘルパーステーション	1	① 敷地内でバックした際、鉄柱に衝突
ビラあさやま	4	① 9号線走行中に飛び石でフロントガラス破損 ② 敷地内でバックした際、駐車中の別の公用車に衝突 ③ 利用者宅にて右前輪脱輪 ④ 車道に飛び出した犬と接触
ビラたかやま	1	① 走行中、左折で出てきた車と接触

苦情内容・件数

事業所名	件数	内容
相愛保育園	3	①職員の対応(連絡)について ②職員の対応(保育)について ③職員の対応(写真販売・連絡)について

ボランティア受入れ件数(延べ)

事業所名	ケアハウス ビラおおだ	ビラおおだ デイサービス センター	ビラおおだ 居宅介護 支援事業所	福寿園	福寿園 ヘルパー ステーション	相愛 保育園	ビラ あさやま	ビラ たかやま	合計
余興、作業 手芸、食育等	12	1	0	2	0	54	64	3	136

施設サービス(入所者状況)

事業所名	ケアハウスビラおおだ	福寿園
入所者数	月平均 50 名	月平均 50 名
男性	11 名	19 名
女性	39 名	31 名
平均年齢	90.4 歳	80.9 歳

通所介護サービス(利用者状況)

事業所名	ビラおおだ サービスセンター	ビラあさやま (一般型)	ビラあさやま (認知症型)	ビラたかやま
1 日平均利用人数	44.65 名	29.33 名	10.29 名	35.16 名

訪問サービス(利用者状況)

事業所名	福寿園ヘルパー ステーション	ビラおおだ居宅
月平均利用人数	介護 581 件、予防 24 名 障がい 20 件	介護 149.8 件 予防支援 4.8 件、予防ケア 2 件

保育サービス(園児状況)

年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
月平均園児数	8.3 名	18.1 名	19.4 名	21 名	23 名	23.6 名	113.4 名

1. 理事会の開催状況

第 170 回理事会

- 月 日 令和 6 年 6 月 12 日
- 場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
- 出席者 理事 6 名 監事 2 名 本部 2 名 施設長 4 名
- 議 題 (1) 令和 5 年度事業報告について
(2) 令和 5 年度資金収支決算について
(3) 定款の一部変更について
(4) 社会福祉充実計画について
(5) 第 67 回評議員会（定時評議員会）招集の決定について

第 171 回理事会

- 月 日 令和 6 年 12 月 17 日
- 場 所 ケアハウスビラおおだ会議室

出席者 理事 6 名 監事 2 名 本部 2 名 施設長 4 名
議 題 (1) 中期計画の策定について
(2) 第 68 回評議員会招集の決定について

第 172 回理事会

月 日 令和 7 年 3 月 17 日
場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
出席者 理事 6 名 監事 1 名 本部 2 名 施設長 4 名
議 題 (1) 令和 6 年度資金収支補正予算について
(2) 相愛保育園定員変更について
(3) 相愛保育園管理規則の一部を改正する規則の制定について
(4) 準職員等取扱規則の一部を改正する規則の制定について
(5) 育児・介護休業等に関する
規程の一部を改正する規程の制定について
(6) 令和 7 年度事業計画について
(7) 令和 7 年度資金収支予算について
(8) 施設長の選任について
(9) 第 69 回評議員会招集の決定について

2. 評議員会の開催状況

第 67 回評議員会(定時評議員会)

月 日 令和 6 年 6 月 27 日
場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
出席者 評議員 7 名 理事長 監事 1 名 本部 4 名 施設長 3 名
議 題 (1) 令和 5 年度事業報告について
(2) 令和 5 年度資金収支決算について
(3) 定款の一部変更について
(4) 社会福祉充実計画について

第 68 回評議員会

月 日 令和 6 年 12 月 25 日
場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
出席者 評議員 7 名 理事長 本部 4 名 施設長 4 名
議 題 (1) 中期計画の策定について

第 69 回評議員会

月 日 令和 7 年 3 月 27 日
場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
出席者 評議員 6 名 理事長 本部 4 名 施設長 4 名
議 題 (1) 令和 6 年度資金収支補正予算について
(2) 令和 7 年度事業計画について
(3) 令和 7 年度資金収支予算について

3. 令和 6 年度監査

月 日 令和 7 年 5 月 26 日
 場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
 出席者 監事 2 名 理事長 本部 4 名 施設長 5 名
 議 題 (1) 令和 6 年度事業報告について
 (2) 令和 6 年度資金収支決算について
 (3) 福寿園預り金管理状況

会議等

月	会議等	月	会議等
4	施設長会議◎4/15 第三者委員報告会◎4/23	10	施設長会議◎10/28 中間ヒアリング◎事業所毎に実施
5	施設長会議◎5/28 監査会◎5/28	11	施設長会議◎11/28
6	施設長会議◎6/27 理事会◎6/12 定時評議員会◎6/27	12	施設長会議◎12/13 理事会◎12/17 評議員会◎12/25
7	施設長会議◎7/29	1	施設長会議◎1/27 内部経理監査◎1/28
8	施設長会議◎8/26	2	施設長会議◎2/26
9	施設長会議◎9/25	3	施設長会議◎3/27 理事会◎3/17 評議員会◎3/27

研修計画

法人全体研修

月	研修名	月	研修名
4	新人職員研修◎4/1	9	交通安全研修◎9/11
6	人権同和問題研修会 ◎DVD にて各事業所にて実施 中堅職員研修◎6/4	11	メンタルヘルス研修会◎11/6 (ストレスチェック実施者)
		1	リフレッシュ研修◎1/25
8	メンタルヘルス研修会(管理者向け) ◎8/7	3	実践研究発表会◎3/7

法人役員等研修

人権同和問題研修◎7/3	苦情解決研修◎10/7
--------------	-------------

事業所外研修

全事協中国、四国ブロック研修◎11/28、29	その他専門知識等研修 ◎WEB、YouTube にて都度実施
-------------------------	-----------------------------------

法人内部研修

専門職種別研修◎事業所毎に実施

事業所内研修◎各事業所内研修計画に基づき実施

事業所内研修	救急法研修
OJT(日常業務を通じた職員教育)	復命研修

その他

法人合同文化祭 ◎11/15～17	事業所交流利用者 かるた大会◎1/15	福利厚生事業 ◎8/18、10/20、29、12/13、1/22
----------------------	------------------------	-------------------------------------

施設サービス

2. ケアハウスピラおおだ(ケアハウス)

人材育成・確保	リーダー的職員を中心に課題や目標を明確化し、職員個々が自ら考え、行動できる自律型人材の育成に取り組む。また常に業務の効率化を意識し利用者台帳等の電子化を進め、併せてリーダー的職員が啓発しながら、誰もが働きやすい職場環境作りを行う。 ◎リーダー的職員が中心となり、日々現状や課題について話し合いを行い、業務内容の変更等職員が自発的に考え、行動へ移す成果に繋がった。 また、助言、指導等も職員個々にあった方法等工夫をしながら取り組んだが、1名の離職者が出てしまった。 ◎日々の業務工程、利用者台帳の記載内容の見直しを行い、タブレットへ情報を集約することで、情報の共有、業務の効率化へ繋げることが出来た。
事業展開、サービス提供	新型コロナウイルス等感染症や自然災害も増える中、福寿園と連携し地域の防災拠点として、地域の方との合同訓練や連絡会議、非常食づくり等の防災活動を更に進める。 リスク管理においては事故防止対策委員会を中心に接遇と事故防止に対する意識を強化し、接遇力と対応力を高めていく。 ◎自主防災会合同防災連絡会議、土砂災害訓練、川合町自主防災会主催の非常食づくり、福寿園と合同での非常食づくりを行う等、災害発生時に備えた訓練を行った。 ◎リスク管理は事故対策委員会を中心に気づき、ヒヤリハットの振り返りを行い、他事業所の事故報告についても自事業所と照らし合わせ、注意喚起を行ってきたが、配薬忘れの事故が1件発生した。
事業の特色、魅力あるプログラム	興味関心チェックシートを活用し入居者個々のニーズに沿った楽しみのある生活の実現に向けて取り組むと共に少人数での活動や関わりの機会を増やし、更に満足度を高める。 「食」「健康管理」「地域貢献」の柱を継続する中、職員の専門性を活かし、疾病等を抱えながらも永く生活して頂けるよう支援する。

	◎興味関心チェックシート、施設アンケート、嗜好調査等を通じて入居者のニーズ把握等を実施し、日頃外出機会が少ない入居者の方を中心とした外出支援を計画し実行した。 ◎入居者の認知症状の進行、高齢化、重度化が進む中で、朝体操や行事へ参加してもらうよう掲示物の見直しや個別の声かけにより、参加人数も増え、居室に閉じこもらず活動性向上を促した。体調管理についても、定期的な居室訪問にて環境整備を行いながら、些細な変化について主治医、家族、関係機関に連絡し、早めの受診、対応を行い、重症化を防いだ。
その他	経年により建物の修繕リスクも高くなる中、日々の点検や備品管理を行い、建物の維持管理を行う。また地域貢献・交流については食を通じた貢献活動の継続と、通いの場等地域住民との交流活動を再開する。 ◎経年劣化による空調機器、給湯器の修繕箇所が目立つ中で、日々の点検や清掃、巡回時に些細なことも報告し速やかに対応をした。 ◎川合町高齢者通いの場、出岡サロンへ新たな入居者が参加される等、地域活動への参加、交流の充実に繋がった。また月1回ふれあい出前弁当の継続と、川合町配食弁当は4名から32名と人数が増え、食を通じた地域貢献を実施した。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	出岡地区防災会合同防災連絡会議（福寿園合同）◎4/16 野外散策（三瓶ダム）◎4/5 ガーデンランチ◎4/11	10	秋の行楽遠足◎10/15 秋の屋外食◎10/1 野外散策（仁摩、五十猛）◎10/25 川合町学校非常食づくり◎10/16 福寿ホール交流会◎10/22
5	日中火災避難消火訓練（おおだデイ・福寿園連携）◎5/23 野外散策（鯉のぼり）◎5/10 野外散策（ごいせ仁摩）◎5/29	11	川合町文化祭への参加◎11/9、10 感染症予防勉強会◎11/26 法人合同文化祭◎11/15、16、17 鬼岩交流（相愛保育園交流）◎11/22 福寿ホール交流◎11/18
6	食中毒・疾病予防勉強会（口の体操）◎6/26 川合町ふれあいの会（福寿園合同）◎6/24 屋外散策（ドライブ）◎6/27 防犯訓練◎6/25	12	忘年会◎12/13 餅つき◎12/26 野外散策（紅葉見物・銀杏のライトアップ）◎12/3 福寿ホール（クリスマスコンサート）◎12/21
7	入居者懇談会◎7/8、9 衣類販売◎7/1 野外散策（キララ多伎）◎7/23	1	新年挨拶会◎1/1 初詣（物部神社）◎1/6 福寿ホール（新春ゲーム大会）◎1/20 炊き出し訓練（1.17 震災の日福寿園合同）◎1/17 事業所交流石見銀山かるた大会◎1/15 非常食づくりコンテスト◎1/23

8	<u>納涼祭（福寿園交流）◎8/25</u> <u>福寿ホール交流会◎8/19</u> <u>オペラ鑑賞◎8/22</u>	2	<u>節分祭参拝（物部神社）◎2/2</u> <u>芸能大会見学◎2/7</u> <u>福寿ホール交流◎2/17</u>
9	<u>夜間火災避難消火訓練◎9/24</u> <u>土砂災害訓練、炊き出し訓練（防災の日 福寿園合同）◎9/4</u> <u>ケアハウスピラおおだ敬老会◎9/13 川合町敬老会出席◎9/15</u> <u>福寿ホール交流会◎9/26</u>	3	<u>大田市福祉展への作品出展・見学◎3/2</u> <u>お茶会交流会（相愛保育園交流）◎3/5</u> <u>炊き出し訓練（3.11 震災の日）◎3/11</u> <u>福寿ホール（踊り披露）◎3/17</u>
その他	<u>健康教室◎6/26 料理教室（パン教室等）◎5/28、3/7 希望献立の日◎随時</u> <u>アツアツ献立の日◎4/15、5/7、6/28 秋の収穫祭◎10/1 誕生食の日◎毎月 お茶会◎5/31 炭火焼きメイン食の日◎適宜 クッキング（巻きずし、角寿司、いなり寿司）◎適時 福寿ホール交流会◎8/19、9/26 買い物外出支援◎適宜</u> <u>ミニ外出支援◎4/5、5/10、24、29、6/27、7/23 クラブ活動◎適宜 法話会◎毎月（地域交流・貢献）ふれあい食堂出前弁当（月1回）及び食堂の再開（適時）◎毎月</u> <u>ふれあい食堂民生児童委員との連絡会議（年1回）◎3/28 川合町配食弁当（月1回）◎毎月 非常食つくり◎9/4、10/16、1/17、3/11 川合町高齢者通いの場◎適宜 出岡サロン◎適宜</u>		

3. 福寿園（養護老人ホーム）

人材育成・確保	次世代を担う職員教育として、研修や日々の業務を通じリーダー的職員から指導助言し、経過の確認、評価を一緒に行うことで部下との信頼関係を築きながら進める。また併設する福寿園ヘルパーステーションとも協働して課題解決に取り組む。 業務の効率化においては新たに導入した真空包装機を活用し食材を一括して調理、保存を行うと共に法人全体での活用方法についても調理部会等で検討しながら進める。 <u>◎日々の業務や目標管理時の面接を通じて指導、助言を行い、コミュニケーションを取りながら業務に取組み、人材育成を進めた。また主任会議を福寿園ヘルパーステーションと合同で行い、それぞれの課題を共有し、一体となって取組み、働きやすい職場環境を作った。</u> <u>◎真空包装機については、調理部会で課題を整理し、各事業所と情報を共有して真空調理を進め、就業時間の改善、各事業所の調理業務の短縮にも繋がった。</u>
事業展開、サービス提供	福寿園ヘルパーステーションとの複合施設のメリットを活かし状況に応じて早朝夜間等柔軟にサービスを利用することで、入園者がより安心して生活が送れる環境作りを行う。併せて介護支援専門員と連携し、より良いサービスに繋げる。 <u>◎体調不良時等でデイサービスを休んだ時には福寿園ヘルパーステー</u>

	ションと情報を密に取りながら介護支援専門員に相談し、臨時で訪問介護サービスの導入へと繋げた。また日中の早い時間に食事等の支援が必要な入園者に対して訪問介護サービスの調整を行った。
事業の特色、魅力あるプログラム	福寿ホール及びひまわりの活用については、園内行事だけでなく法人内事業所と積極的に交流の機会を設ける。また地域防災拠点としての機能を活かし、非常食づくり等の場として提供する。 閉じこもり予防として文化祭や福祉展に出品する手芸作品等の作成を行い、また定期的な外出支援として季節に合わせた弁当を持参して風景等を楽しんで頂く。 ◎敬老会等の福寿園内での行事だけでなく、ケアハウスビラおおだ、ビラおおだデイサービスセンター合同交流会や納涼祭、オペラコンサート等を行い、入園者との交流を深めた。また、法人で開催した文化祭やかたるた大会、川合保育園や相愛保育園との交流、その他クリスマスコンサート等で年間を通し交流する機会を作ることが出来た。 ◎地域防災拠点として年３回、非常食づくりを開催し地元住民やケアハウスビラおおだと一緒に防災意識を高めた。 ◎定期的に外出支援を実施し閉じこもり予防に取り組んだ。また季節に合わせた弁当を持参し景色を眺めながら食事を楽しんでもらった。
その他	新型コロナウイルス等感染症について、嘱託医等との連携や勉強会を実施し、感染対策を強化し安心安全な施設運営を行う。 ◎感染者発生時には床や手すりの消毒を毎日実施し、速やかに多職種で対応方法を再確認し、早めに嘱託医に状況報告、相談し感染拡大を防いだ。また嘱託医による感染症についての勉強会を開催し、福寿園ヘルパーステーションとともに感染症対策の強化に取り組んだ。 ◎事故については、薬に関する重大事故が２件発生した。再発防止に向け全職員で事故防止に対する意識を高め、決められた事が必ず行えるよう指導と手順の確認作業を徹底して行った。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	出岡地区防災会合同防災連絡会議(ケアハウス合同) ◎4/17 非常食づくり◎4/9 外出支援(花見会) ◎4/2、4、7	10	クッキング◎10/28 夜間火災避難消火訓練◎10/24 川合まつり(食育ボランティア)◎10/8 川合保育園交流会◎10/28 外出支援◎10/17、18、21
5	外出支援(新緑観賞) ◎5/10	11	衣類販売◎11/21 焼き芋会◎11/4 法人合同文化祭◎11/15～17
6	日中火災避難消火訓練(ケアハウス・おおだデイ連携) ◎6/17 川合町ふれあいの会(ケアハウス合同) ◎6/24 衣類販売◎6/30	12	クリスマスケーキ作り ◎12/21 餅つき◎12/26 クリスマスコンサート◎12/21 外出支援(いちょう) ◎12/5

7	クッキング◎7/7 外出支援◎7/12	1	炊き出し訓練◎1/17 (1.17 震災の日 ケアハウス合同) 正月献立◎1/1 外出支援(初詣)◎ 1/2、6 事業所交流石見銀山かるた大 会◎1/15 川合町非常食つくりコンテ スト◎1/23
8	納涼祭(ケアハウス交流)◎8/25	2	節分会◎2/3
9	炊き出し訓練(防災の日 ケアハウス合 同)◎9/4 土砂災害避難訓練◎9/4 川合町敬老会◎9/16 長寿を祝う会◎9/12 外出支援◎9/17、19、20	3	ひな祭り◎3/3 外出支援◎3/1、7、12 お花見お茶会◎3/31
そ の 他	ケアハウス合同クッキング◎適宜 日本列島食巡り◎適宜 ケアハウス交流会◎適宜 防犯訓練(年1回)◎3/10 火災通報装置訓練◎毎月 1周年記念◎3/9		

保育サービス

4. 相愛保育園

開所日数 295日(日曜日、祝日及び1月1日～1月3日まで休園)

サービス提供時間 7:00～19:30

人材育成・確保	主任保育士を中心に、保育園の現状について日頃から情報を共有し、課題の解決や改善に取り組む。また園内外の研修を通して、保育の質や職員のコミュニケーション能力を高める。日常の業務を見直し、保育システムの活用や業務の効率化・省力化を積極的に行い、働きやすい職場環境を整える。 ◎新人職員やクラス主任、職務経験ごとにグループ討議の機会を設け、日頃の悩みや困りごと、要望等を情報共有した。その際把握した課題について、係長、主任保育士が中心となって改善に取り組んだ。園内外で行われた公開保育に参加し、他園の保育士や異業種の人と一緒に保育を振り返ったり、他職員の保育を見て学んだりし、職員同士のスキル向上やモチベーションアップに繋がった。欠席や園児の体調についての連絡方法に保育システムのアプリケーションを利用し、業務を削減することができた。また、日々の業務や保育の中での気づきや改善点をミーティング、職員会議等で共有し、職員がより働きやすい環境を整えた。
---------	---

事業展開、サービス提供	安心安全な保育を提供するため、新型コロナウイルス等の感染症予防に努めると共に、保育中の事故やヒヤリハットに対する職員の危機管理意識を高める。他園にはないサービスとして、保育システムのアプリケーションを利用し、保護者の利便性を高め、保育園からの情報が保護者に的確に伝わるようにする。またホームページを毎日更新し、保護者や地域へ保育園の取組みについて情報を発信する。 <u>◎園内や地域の感染症情報を玄関のホワイトボードや保育システムのアプリケーションを利用して保護者にこまめに周知し、感染症拡大防止に努めた。また保育システムのアプリケーションを利用しておたよりの配信や欠席の連絡等ができるようにし、保護者の利便性を高めた。ホームページで保護者や外部の方に園の魅力や取組みが伝わるように新たにページを設けた。</u>
事業の特色、魅力あるプログラム	園児が大田市の歴史や文化、自然に触れられる機会を積極的に設け、「大田市が大好きな子ども」を育てる。散歩や体操教室、芸術体験などを継続して行い、心身ともに丈夫な体、豊かな感性を育成する。地域との関わりの中で生活に必要な挨拶やルール・マナーを身につけ、心地よく過ごす喜びを体験することで郷土愛を育てる。また園児の言語の発達を促し、聞く力、伝える力、考える力を育てる。この他、デリバリー給食や地産地消ビュッフェを行うと共に、園児・保護者に食事と健康の関係について分かりやすく伝え、身近な食材や食事への興味・関心を高める。 <u>◎「大田市が大好きな子ども」を育てる取組みとして、親子遠足で石見銀山や三瓶山に行った。銀山かるたも引き続き行い、事業所交流石見銀山かるた大会を通して各事業所の利用者の方と一緒に交流を楽しむことができた。これらの活動を通して地域の文化や自然への興味だけでなく、文字への興味や聞く力、考える力も育てた。また散歩や体操教室、芸術体験などを通して心身共に丈夫な身体や感性を育てた。日々の保育に言語研修で学んだことを積極的に取り入れ、園児の言語獲得を促す言葉かけや絵本の選出を行った。食育では、デリバリー給食や地産地消ビュッフェ、誕生児の希望のおやつや3月には卒園児の希望献立を取り入れるなど、献立作りにも他園にない個性を打ち出し、食に対する興味関心を育てると共に、箸の持ち方等食事のルールやマナーも身につけられるようにした。離乳食教室で在宅の親子に向けた活動や、作品展（事業所合同）で園児の作品とともに、食育キャラクターをアピールする展示を行い、保育園内外で保育園の食育活動を周知した。</u> <u>◎ハロウィンパレードや地域のお店に園児と出向き買い物をするなど地域に根差した保育の提供ができた。</u>

その他	日々の気づきを基に環境整備をこまめに行い、園児が安全で快適に過ごせるようにする。 ◎園舎周辺や園庭の除草作業をこまめに行う等、環境整備に取り組んだ。 ◎園舎内外の清掃など園児が安全に過ごせるようにした。
-----	--

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	入園式、進級式◎4/6 保護者総会◎4/6	10	園外保育◎10/18 園児健康診断◎10/15 箱寿司づくり（食育ボランティアとの交流）◎10/15 ハロウィンパレード（地域交流）◎10/30 親子運動会◎10/12
5	親子遠足◎5/17	11	蒲鉾工場見学◎11/19 作品展（事業所合同）◎11/15 四園交流（年長児）◎11/8 保護者研修会◎11/15 炊き出し訓練◎11/21 神楽面作り◎11/27 鬼岩見学（施設交流）◎11/22
6	保護者研修会（神楽公演）◎6/8 園児歯科検診◎6/12 交通安全教室◎6/4	12	もちつき会（祖父母参観）◎12/13 クリスマス会◎12/18
7	セタプール開き集会◎7/5 夏祭り◎7/20	1	親子茶会◎1/18 事業所交流利用者かるた会◎1/15
8	小学生との交流◎8/24	2	節分会◎2/3 お楽しみ会◎2/1 雪遊び◎2/28 なかよし茶会◎2/12 新入园児・継続児健康診断◎2/26
9	プール納め◎9/2、3、4 施設交流◎9/26、27	3	ひな祭り会◎3/3 ひな祭り茶会◎3/5 なかよし集会◎3/12 なかよし遠足◎3/14 パン作り◎3/6 卒園式◎3/22 園児健康診断◎3/26
月例行事	誕生会◎月1回 身体測定◎月1回 避難訓練◎月1回 元気モリモリの日（体操教室：年長児）◎5/14、6/5、7/9、8/6、9/19、10/1、11/12、12/2、1/14、1/30、3/11 お茶のお稽古（年長児）◎5/24、6/19、9/18、11/13、12/11、24、1/18、2/12、3/5 習字（年長児）◎5/15、6/17、9/2、11/5、12/11、1/21、2/13、3/11		

その他	法人内高齢者施設との交流会◎9/26、27、10/22 一日保育士体験、個人懇談（各クラス）◎5/8、14、24、27、29、30、31、6/10、11、12、14、17、7/17、25、30、31、8/23、9/10、12、13、24、11/12、14、15、18、12/5、 環境整備（春、夏、秋）◎5/26、7/12、10/19 お弁当ごっこ ◎5/24、11/21、12/12、1/10、2/14、3/3 親子クッキング◎11/16 離乳食教室◎5/24 防犯訓練◎6/25、9/13 習字（年中児）◎1/9 地産地消ビュッフェ◎4/18、8/23、3/12 デリバリー給食◎5/10、2/28 クッキング◎4/19、5/29、10/15、11/21、1/7、2/3、3/3（夏季を除く） すまいるくらぶ（地域交流）◎6/6、7/11、8/8、9/12、10/17、11/14、12/12、1/16、2/13
-----	---

通所介護サービス

5. ピラおおだデイサービスセンター

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日 310 日（日曜日及び1月1日～1月3日まで休業）

サービス提供時間 9:30～16:35

人材育成・確保	リーダー的職員と中堅職員が中心となり、課題に対して意見を拾い上げ、指導助言を行いながら解決する。また研修で得られた内容を各職種の視点を活かし業務へ取り入れ、スキルアップや働きがいの向上を図ると共にタブレットや介護ソフトを活用した業務の省力化の取り組みを継続する。 ◎日常業務での課題の改善、事故防止の啓発にリーダー的職員からの指導や助言を受けながら、中堅職員が中心となり取り組んだが、転倒事故が2件発生した。利用者のつぶやきを拾い、外出支援の充実を図った。介護ソフトについては、ほのぼのを更新し、タブレットを使用したリアルタイムな記録入力を行い、時間短縮に繋がった。
事業展開、サービス提供	福寿ホールを活用した行事や活動機会を設け、併せて活動内容や取り組みを介護支援専門員や地域へ発信・PRする事で、新規利用者を獲得すると共に地域から選ばれる事業所作りを行う。また安心してサービスを利用できるよう新型コロナウイルス等感染症対策を継続する。 ◎福寿ホールでの体操教室やレクリエーション活動を福寿園、ケアハウスと合同で実施し、活動の幅が広がったことで、利用者の満足度向上に繋がった。川合町、三瓶町池田、静間町の通いの場へ参加し、通いの場利用者のデイ新規利用も増えた。コロナ感染症対策については、看護師を中心に検査の実施や消毒方法について対応を確認し、感染予防対策を強化した。

事業の特色、魅力 あるプログラム	利用者の興味関心へのアプローチや活動への反映を継続し、言葉にすることが難しい方には家族への聞き取りや生活歴から実践に繋げていく。また生活機能チェックシートの聞き取りを強化し、リハビリ内容や介助方法の検討・変更をスムーズに行うと共に認知症や意欲低下等への対応を強化する。 <u>◎興味関心チェックシートやつぶやきの聞き取りを行い、個別活動に反映した。言葉にすることが難しい方への活動を評価し、より良いものになるよう取り組み、利用者満足度の向上に繋がった。実施した内容は家族へ作品を手渡したり、ホームページ、個人通信で伝えることで特色や魅力の定着に向けてPRを行い、新規利用者の獲得に繋がった。定期的に生活機能チェックシートを見直し、利用者の現状に合ったりリハビリや介助方法を機能訓練指導員を中心に実施し、利用者の負担感、介助量の軽減ができた。</u>
その他	日々の点検や定期的な在庫の管理を行い、コストを削減する。また従来の通いの場への参加を継続し、併せて新規通いの場を開拓する。 <u>◎設備、備品の日常的な点検を行い、大規模修繕にならないよう管理した。川合町、三瓶町池田の通いの場の他、静間町の通いの場にも訪問し、通信の配布や体操、活動を紹介し、事業所のPRの幅を広げることができた。</u>

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	花見（お弁当持参）◎4/23、25	10	日中火災訓練消火訓練◎10/28 家族交流会◎10/9
5	日中火災訓練消火訓練◎5/23 （ケアハウス、福寿園連携） パン教室◎5/28（家族交流会）◎5/21	11	文化祭出展と見学◎11/15、16、17 紅葉ドライブ ◎11/18、19、20
6	家族交流会◎6/21 食中毒予防教室◎6/28	12	忘年会◎12/12、13 クリスマス会◎12/25 脱水予防教室◎12/18、19、23
7	夏祭り（川合保育園交流）◎7/16、17、 18、19	1	新年会◎1/9、10 初詣◎1/13～30 事業所交流石見銀山かるた大会 ◎1/15
8	ドライブ（海）◎8/20、21、23	2	パン教室◎2/21 節分会◎2/3
9	敬老会◎9/9～14 敬老お出かけ（弁当持参サヒメル） ◎9/19、20 相愛保育園交流◎9/26、27	3	福祉展出展と見学◎3/1 ひな祭り会◎3/3～30 花見◎3/31 卒園児へ贈り物◎3/10、11

その他	屋外訓練（8、12、1、2月以外実施）◎4月、5月、6月、7月、9月実施 保育園交流会◎9/24（あゆみ保育園）、喫茶（月1回程度）◎毎月実施 クッキング（月1回程度）◎毎月実施、誕生会（随時）◎毎月実施
-----	---

6. ビラあさやま

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日 310 日（日曜日及び1月1日～1月3日まで休業）

サービス提供時間 9:30～16:35

人材育成・確保	リーダー的職員は活発な対話が出来るチーム作りを目指し、意見やアイデア等を取りまとめ、同じ目標に向かって業務遂行できるよう取り組む。また情報の見える化、共有化、効率化を進める為に電子化に取り組み、より働きやすい環境作りを行う。 ◎リーダー的職員が中心となり、事業所の現状と課題を整理し、目標に向かい取り組んだ。コミュニケーション不足の場面や上手くいかない部分に対しては、管理者が中心となり、面談する時間を設け、課題の把握に努め改善に向けて取り組んだ。また、業務の効率化を意識し、タブレットを有効活用し、共有しながら取り組んだ。
事業展開、サービス提供	事業継続計画に基づいて新型コロナウイルス等感染症や非常災害の研修や訓練を実施し、発生時には迅速に対応できるようにする。日々の業務での気づきを速やかにケース記録へ入力、ヒヤリハットの作成を行うと同時に分析や共有を行い、事故を防止し安心して利用して頂けるサービス提供を行う。 ◎事故防止対策委員会を中心に多職種で意見を出し合いながら、当事者意識を持ち、他事業所での事例も自事業所に置き換えてシミュレーションし、リスクに対しての意識を高めた。気づきやヒヤリハットでの対策を徹底し、事故防止に努めた。5月に新型コロナウイルスのクラスターが発生、多くの活動を見合わせる形となったが、体調不良者への対応などを継続し、安心安全な施設運営を継続した。
事業の特色、魅力あるプログラム	利用者や家族の意見を聞き取り、今後の生活に繋がるリハビリや支援について検討を重ね、多職種で連携して実践する。またリハビリルームの活用については、定期的に内容を見直してメニューを充実させ、より在宅生活に即した機能訓練が実践できるよう取り組む。 地域行事へ積極的に参加し、また地域住民や各関係機関の方に来所して頂ける行事を立案し、事業所の取組みや魅力を紹介する。 ◎個別内容やリハビリルームの見直しを随時行い機能訓練に役立てた。生活機能チェックシートを活用し自宅での様子を細かくポイントを押さえた聞き取りを行った。定期的なリハビリ会議を開催し情報収

	集を行った。6月に神楽、8月に夏祭り、11月によさこい等地域や外部の方々を招き、事業所の取組みや魅力を発信した。
その他	日頃より建物や設備、備品の点検を行い、計画的な修繕や購入により施設の長期維持を図る。 ◎経年により建物の修繕リスクも高くなり、日々の点検や早期の対応を実施したが、ろ過器の故障に伴い、緊急的な配管工事を実施した。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	屋外訓練(花見)◎4/4～20 交通安全教室◎4/24	10	屋外訓練(紅葉) ◎10/14～19 あけぼのこども園交流会(運動会) ◎10/29 屋外食◎10/24
5	屋外訓練(花見) ◎5/2～18 火災避難消火訓練◎5/24 体力測定◎5/27	11	文化祭出展・参加(朝山、富山) ◎11/11、18 法人合同文化祭◎11/14～16 屋外訓練◎11/9～16 体力測定◎11/20 絵手紙教室◎11/26
6	屋外訓練(日常生活動作訓練) ◎6/18～22 陶芸教室◎6/14 野外食◎6/19	12	感染症予防教室◎12/17 クリスマス会 ◎12/25 そば道場◎12/13 忘年会◎12/18、19 フラワーアレンジメント(門松作り) ◎12/20 伝習館しめ縄作り◎12/13 餅つき◎12/23
7	七夕◎7/5 食中毒予防・熱中症予防教室◎7/17	1	初詣◎1/6～11 新年会(お茶会) ◎1/6 事業所交流石見銀山かるた大会◎1/15
8	地域・家族交流会◎8/21 夏祭り◎8/21	2	節分◎2/3 食育教室◎2/4 あけぼのこども園交流会◎2/5 開所 30 周年祝い◎2/10、11
9	敬老会◎9/17～19 屋外訓練◎9/16～21	3	ひなまつり会◎3/3 屋外訓練◎3/17～22 火災避難消火訓練◎3/13
その他	手芸クラブ◎適宜 喫茶◎月 1 回 園芸活動◎適宜 奉仕活動◎6/2 クッキング◎適宜		

ビラあさやま認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

開所日 310 日(日曜日及び1月1日～1月3日まで休業)

サービス提供時間 9:30～16:35

人材育成・確保	リーダー的職員は活発な対話が出来るチーム作りを目指し、意見やアイデア等を取りまとめ、同じ目標に向かって業務遂行できるよう取り組む。また情報の見える化、共有化、効率化を進める為に電子化に取組み、
---------	--

	より働きやすい環境作りを行う。 ◎リーダー的職員が中心となり、事業所の現状と課題を整理し、目標に向かい取り組んだ。コミュニケーション不足の場面や上手くいかない部分に対しては、管理者が中心となり、面談する時間を設け、課題の把握に努め改善に向けて取り組んだ。また、業務の効率化を意識し、タブレットを有効活用し、共有しながら取り組んだ。
事業展開、サービス提供	事業継続計画に基づいて新型コロナウイルス等感染症や非常災害の研修や訓練を実施し、発生時には迅速に対応できるようにする。日々の業務での気づきを速やかにケース記録へ入力、ヒヤリハットの作成を行うと同時に分析や共有を行い、事故を防止し安心して利用して頂けるサービス提供を行う。併せて利用者の思いを傾聴共感し、利用者一人ひとりのペースに合わせた支援を行う。 ◎事故防止対策委員会を中心に多職種で意見を出し合いながら、当事者意識を持ち、他事業所での事例も自事業所に置き換えてシミュレーションし、リスクに対しての意識を高めた。気づきやヒヤリハットでの対策を徹底し、事故防止に努めた。5月に新型コロナウイルスのクラスターが発生、多くの活動を見合わせる形となったが、体調不良者への対応などを継続し、安心安全な施設運営を継続した。
事業の特色、魅力あるプログラム	利用者一人ひとりの認知症の精神症状、行動症状の変化を把握、職員間で情報共有し、本人の持っている能力を引き出す為、非薬物療法を積極的に取り入れる。併せて「昔好きだったこと」「得意だったこと」に楽しく取り組めるよう柔軟に対応し、個別ケアを実践する。また主治医や各関係機関等と情報交換をしながら、自宅での介護方法を介護者と一緒に考え、チームで自宅での生活を支える。 地域行事へ積極的に参加し、また地域住民や各関係機関の方に来所して頂ける行事を立案し、事業所の取組みや魅力を紹介する。 ◎認知機能検査等の指標を用いて本人の持っている能力を引き出し、職員間で共有しながら、非薬物療法に取り組んだ。「個」での対応が必要な方に対して、医療や関係機関と情報共有を密に行いながら、在宅での生活が継続出来るよう、柔軟な受け入れを行った。行事等は計画的に企画、立案し、地域住民や関係機関等に来所して頂けるようチラシ等を作成し発信した。
その他	日頃より建物や設備、備品の点検を行い、計画的な修繕や購入により施設の長期維持を図る。 ◎経年により建物の修繕リスクも高くなり、日々の点検や早期の対応を実施したが、ろ過器の故障に伴い、緊急的な配管工事を実施した。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	屋外訓練(花見) ◎4/4~13	10	屋外訓練(紅葉) ◎10/14~19

	交通安全教室◎4/24 認知機能検査◎4/22～30		あけぼのこども園交流会（運動会）◎10/29 屋外食◎10/24 認知機能検査◎10/7～12
5	屋外訓練（花見）◎5/2～11 火災避難消火訓練◎5/24	11	文化祭出展・参加（朝山、富山）◎11/11、18 屋外訓練◎11/9～16 体力測定◎11/20 法人合同文化祭◎11/14～16 絵手紙教室◎11/26
6	屋外訓練（日常生活動作訓練） ◎6/18～22 陶芸教室◎6/14 野外食◎6/19	12	感染症予防教室◎12/17 クリスマス会◎12/25 そば道場◎12/13 忘年会◎12/18、19 餅つき◎12/23 フラワーアレンジメント（門松作り）◎ 12/20 伝習館しめ縄作り◎12/13
7	七夕◎7/5 食中毒予防・熱中症 予防教室◎7/17	1	初詣◎1/6～11 新年会（お茶会）◎1/6 事業所交流石見銀山かるた大会◎1/15
8	地域・家族交流会◎8/21 夏祭り◎8/21	2	節分◎2/3 食育教室◎2/4 あけぼのこども園交流会◎2/5 開所 30 周年祝い◎2/10、11
9	敬老会◎9/17～19 屋外訓練◎9/9～14	3	ひなまつり会◎3/3 屋外訓練◎3/17～29 火災避難消火訓練◎3/13
その他	喫茶◎月 1 回 奉仕活動◎6/2 クッキング◎適宜 手芸◎適宜		

7. ビラたかやま

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日 310 日（日曜日及び 1 月 1 日～1 月 3 日まで休業）

サービス提供時間 9：30～16：35

人材育成・確保	リーダー的職員、中堅職員を中心に、継続して事業所の課題解決に取り組む、現状の見直しや検討を重ね、業務の効率化を行う。職員一人ひとりが自ら考え、コミュニケーションを活発にし、互いにサポートしながら、取り組む。 ◎人材確保については、年度途中で 2 名の職員採用、障がい者雇用 1 名あり、職員体制を整え人材育成を行った。課題解決行動計画シートを使用し、リーダー的職員、中堅職員を中心に事業所の課題分析を行い、解決に向けて事業所全体で取り組みを行った。
事業展開、サービス提供	新型コロナウイルス等感染症対策を継続して行い、併せて気づきやヒヤリハットの共有、見直しを定期的の実施し、リスクに対する意識付けを行う。また接遇、事故防止対策の啓発をすると共に情報を共有し、安心安全なサービスを提供する。 ◎コロナ感染症対策については、利用者の健康チェックや体調の変化に注意し、予防対策を年間を通して実施したが、8 月と 3 月にコロナ感

	染があった。事故対策委員会を中心に気付きやヒヤリハットの振り返りを行った。服薬に関する事故が 1 件発生し、服薬管理方法について再度見直しを行い再発防止に努めた。
事業の特色、魅力あるプログラム	「機能訓練」「活動」「食事」を中心に、集団活動と少人数での活動を計画的に取り入れることでメリハリを付け、楽しみや意欲を引き出しながら取り組む。更に利用者からの要望が多かった、屋外活動を通年で行うと共に利用者の状態に合わせた散歩コースを設定し、見える形で達成感、満足感が得られるよう支援する。 また、夕食持ち帰りサービスを継続することで、利用者の食の確保を行い、在宅生活を支える。 ◎利用者アンケートで要望の多かった屋外訓練を毎月計画し実施した。機能訓練も兼ねて気候が良い 10 月に施設周辺の散策を行ったり、弁当持参の屋外活動を実施し、地域の方との交流も行えた。 活動内容に要望を取り入れ集団や少人数での活動を実施し、週対抗のゲームや共同や個人の作品作りなど変化をつけながら活動を行った。 夕食持ち帰り弁当は 4 月 71 食から 3 月 128 食に増え、新規利用者の獲得にも繋がった。
その他	建物や設備、備品の点検を徹底し、修繕を最小限に抑えると共に長寿命化を図る。 ◎施設設備・備品の日常的な点検を行い、大きな修繕に繋がらないよう管理を行った。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	お花見◎4/12	10	相愛保育園交流会◎10/22
5	運動会◎5/27、28	11	文化祭出品◎11/17 見学◎11/23 法人合同文化祭◎11/15～17 火災避難消火訓練◎11/28 感染予防教室◎11/13、14
6	火災避難消火訓練◎6/20 熱中症・食中毒予防教室◎6/27	12	忘年会◎12/12、13 餅つき◎12/26 クリスマス会◎12/24
7	七夕◎7/6 体力測定◎7/15～20	1	新年会◎1/8、9 体力測定◎1/27～31 事業所交流石見銀山かるた大会◎1/15
8	夏祭り◎8/20～22	2	節分◎2/1
9	敬老月間◎9/10～12 土砂災害避難訓練◎9/24 水上保育園交流会◎9/19	3	ひな祭り◎3/3 家族交流会◎3/3～8
その他	プチカフェ◎毎月 パンの日◎毎月 あつあつメニューの日◎4 月、5 月、6 月 ビラたかやま通信発刊◎5/16 屋外訓練◎4/8～13 ◎5/9～17 ◎6/14～19 ◎7/22～27 ◎9/5～9、17、18 ◎10/7～12 ◎11/18～23 ◎1/13～25 ◎2/10～24 ◎3/17～28		

訪問サービス

8. 福寿園ヘルパーステーション

訪問介護・介護予防訪問介護相当サービス・障がい福祉サービス

人材育成・確保	利用者の状態に応じた対応を行う為、基礎的な介護技術等の研修を徹底し応用力を身につける。 個々の課題を把握し、具体的な目標を持って業務に取組み、不安やわからないことがある場合は、同行訪問を行いながら自信を持って仕事ができるようサービス提供責任者が中心となり助言、指導を行いながらチーム力を高める。 <u>◎サービス提供責任者を中心に経験年数に応じた介護技術の研修を個別に行い基礎的な技術を身に付ける事ができた。またサービス提供責任者が常時事務所にいる事で訪問先からの相談対応ができ、安心して訪問する体制を作った。</u>
事業展開、サービス提供	福寿園の複合施設のメリットを活かし、早朝夜間の対応また介護予防の訪問も実施し、安心して自立した生活ができるようサービスを実施する。 <u>◎急な体調不良や感染症による居室隔離の指示が出た場合やデイ利用ができない場合にもケアハウス、福寿園と連携を取り、必要なサービスを実施することが出来た。また福寿園入園者の要支援の方へ介護予防訪問介護相当サービスを提供することで、今出来ることを継続して行えるよう自立支援を行った。</u> <u>◎薬に関する重大な事故が2件発生した。全職員が決められた手順を行えるようマニュアルを整備し訪問前の繰り返しの確認や、新たにチェックシートを作成し活用することで再発防止に努めた。</u>
事業の特色、魅力あるプログラム	住み慣れた地域社会で、利用者の尊厳を守りつつ、幅広いニーズに対応し自立支援を行うことで在宅生活を長く楽しめるようサービス提供する。利用者が在宅で最期を迎える選択をされた時、家族の介護疲れや精神的な負担も考慮できるよう他職種と連携し看取り介護を実現する。 <u>◎利用者の気持ちを一番に考え、家族にも寄り添い積極的に他職種へ提案を行い、実施状況や、緊急時の報告をとりながらサービスを行った。</u> <u>◎ホームページの活用や通いの場へ参加し、季節のレシピや在宅での季節ごとの注意事項等紹介しヘルパーの仕事内容について発信した。</u>
その他	新型コロナウイルス感染症等や自然災害等の情報を周知し、感染対策が迅速にとれるよう定期的に予防着の確実な装着の仕方を実践し、感染予防を徹底する。

	職員が健康に働くため、健康診断や腰痛対策の研修を実施し、希望の時間帯で働くことや休暇が取れる環境作りをする。 <u>◎感染症や熱中症の注意報が出た時には福寿園と共有し、協力し合っ</u> <u>て感染症の拡大を抑え、訪問時には注意喚起を行った。また利用者だ</u> <u>けではなく、その家族の健康状態の把握に努め、必要に応じて早めの</u> <u>受診に繋げる等行った。</u> <u>日頃から職員や職員の家族の健康状態を把握し、健康で働きやすい環</u> <u>境を整えた。</u>
--	--

9. ピラおおだ居宅介護支援事業所

居宅介護支援・介護予防居宅介護支援・介護予防ケアマネジメント

人材育成・確保	相談援助の専門職として福祉・保健・医療関連の幅広い知識や技術が身につくよう各種研修会へ積極的に参加し、学んだことやこれまでの実践で培った経験を事業所内で共有して全体のスキルアップを図る。 また日頃から業務改善や効率化を追求し、子育て世代や短時間勤務等の職員が仕事と生活の調和を図りながら安心して働き続けられる職場環境作りを行う。 <u>◎専門課程研修のほか市内で開催された各種研修会へ積極的に参加</u> <u>し、学んだ内容を事業所内で復命して職員全員のスキル向上を図った。</u> <u>研修に参加したことで、知識やスキルを習得し自己成長することがで</u> <u>きた。会議等で互いの業務進捗状況等を確認し、分担や協力する等フ</u> <u>ォローし合える職場環境に努め、実践することができた。</u>
事業展開、サービス提供	今年度の介護報酬改定において医療や地域と更なる連携強化が求められていることを念頭に置き、終末期や難病等で医療ニーズの高い方、中重度の認知症高齢者等、支援困難者であっても安心して在宅生活が続けられるよう受入れ体制の整備を行う。 地域包括支援センターが業務委託されるにあたり、更に関係や連携の強化を図っていく。 <u>◎医療ニーズの高い利用者も積極的に新規の受入れを行い、適宜看護</u> <u>師資格を持つ職員の助言やサポートを得ながらサービス提供を行っ</u> <u>た。また社会福祉士資格を有する職員の育休復帰により、生活困窮等</u> <u>の社会的支援を必要とする利用者へのサービス提供を行った。介護報</u> <u>酬改定の解釈等最新情報を収集して加算等が適切に取得できるようマ</u> <u>ニュアルを見直した。地域包括支援センターや医療機関等と連携を密</u> <u>に図り、新規相談は積極的に受入れた。</u>
事業の特色、魅力あるプログラム	特定事業所として、地域包括支援センターや他の居宅介護支援事業所と共同して事例検討会や研修会を行い、実習生の受入れも実施する。また高齢者夫婦世帯や独居・単身高齢者、若年性認知症、ヤングケア

	ラー等多様化している生活課題に対し、専門的な研修等で研鑽を重ねていることや長年培ってきた経験や人脈を強みとして取り組んでいることをホームページ等の媒体を活用して関係機関等に発信していく。 <u>◎他法人の事業所と共同して事例検討会や研修会を行い、多様化する生活課題や地域課題について一緒に考え、改善に向けて取組んだ。また県立大学の看護実習生４名と介護支援専門員実務者研修実習生１名の受入れを行い、活動の様子や日頃の取組みはホームページで発信した。</u>
その他	新型コロナウイルス等感染症の流行状況や最新の対策等について情報収集を行い、状況に応じた業務遂行を行う。 <u>◎情報収集して感染症等流行に備え、状況を把握しながら業務を行い、流行時期においても大きな混乱なく対応できた。</u>